

落石地区マリンビジョンニュース

2010.3 vol.9



落石地区マリンビジョン協議会では、様々な人たちと連携してビジョンを実現するために取り組んできました。その取り組み内容を随時お知らせしてきましたが、今回から紙面を一新して「落石地区マリンビジョンニュース」として定期的に発行することにしました。ご感想、ご意見等お寄せ下さい。

発行・編集：落石地区マリンビジョン協議会事務局

「おさかな出前授業」が開催されました！

落石漁協青年部が2月4日に、酪農地帯の厚床小学校で「おさかな出前授業」を行いました。漁業への認識を高めてもらい、名産品の認知度をアップすることが目的です。今回の「おさかな出前授業」は、青年部が単独で行う初の試みでした。

落石漁協青年部は、後継者育成と食育を兼ねた出前講座を企画し、厚床小学校に打診したところ快諾を得て、タコ漁に従事している青年部員4人が出前授業を行いました。「おさかな出前授業」では、たこザングの調理教室や、自らの仕事を動画に収めたタコ漁師の1日を紹介しました。さらに獲れたての体長1.2mにもなる生きたミズダコを持参し、教諭や子供達は、恐る恐る指を伸ばしてふれあいを楽しんでいました。

調理教室では、小ぶりのヤナギダコを使い、ぬめり取りから体験しました。子供達は、「生きたタコを触るのは初めて。吸盤が面白かった」など、初めての体験に歓声があがっていました。

同じ根室市内でも酪農家の子供達が多い厚床地区では、海の話聞く機会は多くなく、生きたタコに触れる体験もできるなど、地域の産業を知る良い機会になったことだと思います。地元で行う授業は後継者育成が主になりますが、他地区で行う授業は食育が中心になります。今後も「おさかな出前授業」を続けていけるようになればと思います。



真剣に授業を聞いている子供たち



生きたミズダコを触りました



タコの調理に挑戦

ゴミ箱設置により衛生化向上

当組合の市場内にゴミの種類ごとに分別して捨てるゴミ箱を昨年の11月20日に設置しました。以前のゴミ箱を設置していない状態では、市場内の端や柱の陰に空き缶等が置いてあったりするなどゴミの放置が見受けられることがありました。しかし、ゴミ箱を設置したことで、施設内にいる人達はゴミ箱が置いてあるというだけで自然にゴミ箱にゴミを捨てるようになりました。ゴミ箱は、燃えるごみ・燃えないゴミ・空き缶・ペットボトルの4種類に分けられ、分別して捨てるようになっていました。ゴミを分別して捨てていただけるようにご協力をお願いいたします。



右から順に、燃えるごみ・燃えないゴミ・空き缶・ペットボトル



落石漁港を出発

5月21日の運航開始に向け、本格始動の前に2月14日に実際にバードウォッチャーに乗船してもらいモニターツアーを行いました。当日の天候は晴れており、視界も良好でした。海上ではかなりの寒さなので、参加されたみなさんは防寒対策を十分にして乗船していました。ルートは、落石漁港を出発しユルリ・モユルリ島の周辺を廻り約2時間30分かけて戻ってくるルートです。

戻ってきた乗客のみなさんの表情を見ると、満面の笑みを浮かべ「良い写真が撮れた」、「珍しい鳥が群れているとは思いませんでした」などと大絶賛でした。

普段気にしないで鳥を見ている方も多いと思いますが、良く見ると同じように見える鳥でも微妙に羽の色が違っていたりするなど、様々な種類の鳥がこの落石沿岸海域にいます。この日は鳥だけでなく、遠くからですがユルリ島にいる馬が見えました。



バードウォッチングを楽しむ乗客

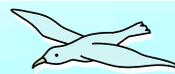


ユルリ島の馬も見えました

【見られそうな海鳥】

コアホウドリ、ハシボソミズナギドリ、エトピリカ、ケイマフリ、ウトウ等

季節や天候、海上の状況により見られる種類が変わりますが、他にも様々な海鳥を見ることができます。海鳥の調査段階では、1航海で20種類以上を確認しています。



チリ地震により発生した津波

2月27日に南米のチリで発生した地震により、気象庁は28日午前9時33分に北海道太平洋沿岸東部に津波警報を発令しました。

1960年のチリ地震津波や1973年の根室半島沖地震を思い出す人もおり、「あの時は港内の海水が無くなるほど潮が引いた」と話していました。

平成19年から群馬大学の片田先生による津波に関する勉強会が開催され、漁業者含め地域住民、職員は津波に対する認識は高く、漁船や港に停めてある車輛などの避難を素早く行うことができ、特に漁船は安全水深である50m以深以上へ避難し勉強会の成果が出ていました。

今回の津波で港に海水が1m程度溢れだしましたが、落石・浜松・昆布盛地区には被害がありませんでした。しかし、今回の津波は第1波よりも後に来る津波の方が大きく、大波が来るのではなく徐々に水位が上昇していくパターンで、津波に対して認識を改めるのに良い機会だったことでしょう。



津波に関する勉強会の様子



港内の海水があふれ出しました

編集・発行・お問い合わせ先

編集・発行 落石地区マリナビジョン協議会事務局

お問い合わせ 事務局 担当:根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話:0153-23-6111 FAX:0153-24-8692

